

研究課題名	消化管病変検出におけるPET 検査の意義の検討
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科消化器内科学 教授 岡 志郎
研究期間	実施許可日 ~ 2028年3月31日
対象者	2020年1月1日から2022年12月31日の間に、広島大学病院において大腸内視鏡検査を受けられ、かつそれ以前にPET 検査を受けられた患者さん
意義・目的	PET 検査所見と内視鏡所見の比較により、PET 集積病変の特徴について明らかにし、PET 偽陰性例・偽陽性例も含めて検討する観察研究を計画しました。PET 検査で検出し得た病変の特徴について明らかにすることにより、消化管病変検出におけるPET 検査の有用性や注意点についても明らかにすることが可能となると予測されます。
方法	本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。カルテから使用する内容は、年齢、性別、既往歴、画像所見、治療法、病理学的所見、合併症、予後などです。なお、個人を特定可能な情報は解析に用いません。
共同研究機関	なし
試料・情報の管理責任者	広島大学大学院医系科学研究科消化器内科学 教授 岡 志郎
個人情報保護について	<p>調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。</p> <p>研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には、提供していただいた情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人を識別できる情報は含まれません。</p>
問合せ・苦情等の窓口	<p>〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3</p> <p>T e l : 082-257-5939</p> <p>広島大学大学院医系科学研究科(医学)消化器内科学 教授 岡 志郎</p>